

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (東広島市立三ツ城小学校)

- ① 教科等 音楽科 ② 学年 第6学年
- ③ 題材名 曲想を味わおう
- ④ 本時の目標 3つの旋律に着目し、リズム、音色、速度の変化を感じ取って聴くようにする。
- ⑤ 学習の流れ (4時間目/全8時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 「木星」のはじめの部分(ア)を聴く。 2 学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「木星」のはじめの部分アを聴かせ、曲が次々変わっていく感じをつかませる。 ・3つの旋律を聴き、変化を感じ取る学習であることを確認する。 	
「木星」(ア)の3つの旋律を聴いて、変化をみつけよう。		
3 はじめの部分(ア)を聴き、3つの旋律の反復や変化を感じ取り、全体で交流する。 ○①②③の旋律がどの順番で現れるか聴き取る。 ○③の旋律の部分を取り上げ、反復する際の速度や音色の変化を聴き取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・着目させたい要素として、「リズム」「音色」「速度」をカードで提示する。 ・旋律を一つずつ聴かせ、それぞれの特徴を捉えさせた後、(ア)全体を聴かせ、旋律が変化したところで1, 2, 3の指で示すようにさせる。 ・変化の捉えやすい③の旋律の部分聴かせ、反復の回数を数えさせたり、反復ごとの旋律の音色や速度の変化を聴き取らせたりする。 ・楽器名と音色、速度の変化が記述できるようなワークシートを準備しメモをとらせながら聴かせる。 ・6本のホルンや旋律を演奏するティンパニーの音色を聴き取らせる。 ・(ア)全体の構成についてと、③の部分について分けて記述させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>〔期待される児童の記述〕</p> <p>全体 初めは旋律が順番に出てくると予想していたが、①→②→①→③の順で出てきたので面白いと感じた。</p> <p>③の部分 ここから3拍子になった。ホルン→弦楽器などトランペットなどと楽器が次々と変わって速度もだんだん速くなっていくので、曲が盛り上がっていく感じがした。特に、③の最後でティンパニーが旋律を演奏するところが、重厚な響きを感じられて好きだった。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の変化や、旋律の反復に伴う音色や速度などの変化を感じ取って聴いている。 〔鑑賞の能力〕 (発言の内容・ワークシート)
4 聴き取った要素の働きとその効果について、ワークシートにまとめる。		
5 本時のまとめとして、はじめの部分(ア)をもう一度聴き、次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「木星」の続きの部分鑑賞することを知らせ、次時の学習に意欲をつなげる。 	

【言語活動の充実】

設定した言語活動を通して育てたい力

- 音楽を形づくっている要素に着目して聴き、その働きと効果を説明したり、ワークシートにまとめたりすることを通して、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取ることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 共通事項をもとに、聴くための視点を黒板に日常的に提示しておくとともに、本時で着目させたい要素をカードで示す。
- 聴きながら要素に沿って簡単にメモができ、最後のまとめに活用できるワークシートを工夫する。
- 聴き取った要素の働きを共有できるように構造的な板書の工夫をする。